

日油グループにおける2022年度の事業活動にともなう環境負荷の状況は以下の通りです。

主要な環境パフォーマンス 日油グループ



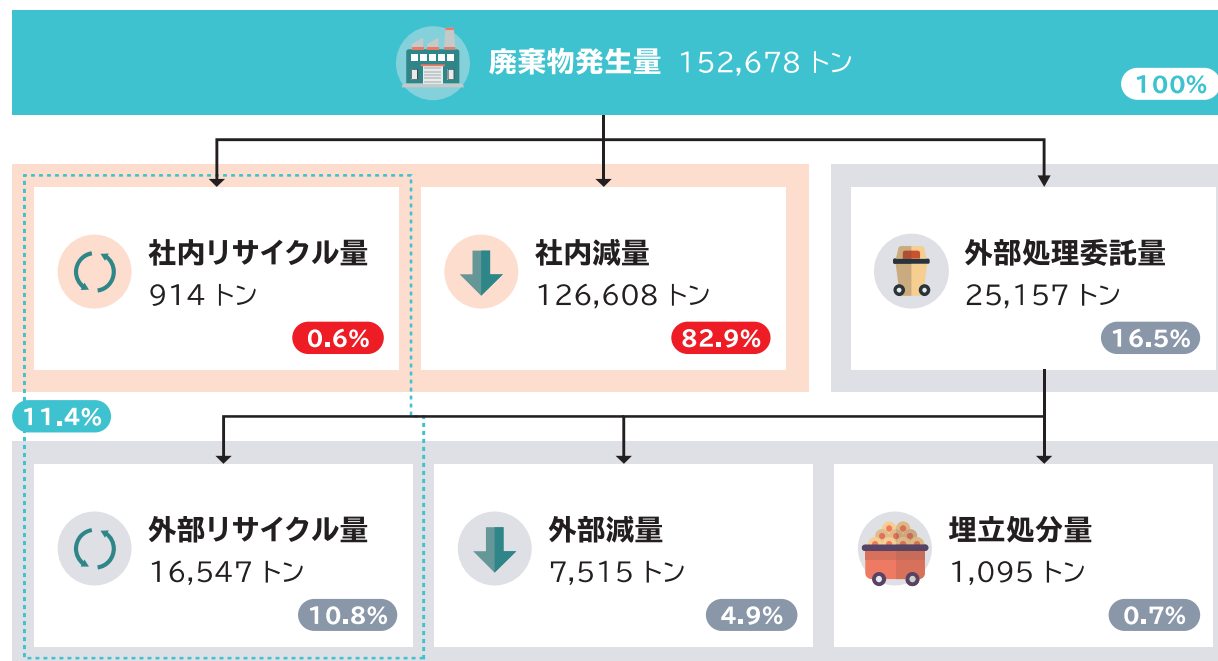
※1 国内グループ(日油および連結子会社13社)の集計
 ※2 温室効果ガス排出量の算定対象期間は、フロン類(PFC等)以外は年度ごと、フロン類(PFC等)は暦年ごとです。
 ※3 温室効果ガス6種からエネルギー起源CO₂分0.5(種)引いたガスを5.5ガスと言います。
 ※4 物流に係るCO₂は、(株)ジャベックスの一部の輸送量を含んでいません。

省資源への取り組み

2022年度の日油グループの廃棄物発生量は、152,678トンとなり、このうち、社内での減量策により82.9%を削減し、16.5%を外部処理委託しています。外部処理委託量の内訳は、外部リサイクル量が10.8%、外部減量が4.9%、埋立処分量が0.7%となっていて、廃棄物発生量に対するリサイクル率は、社内を含め11.4%となりました。

資源循環の取り組みとして、工程改善による歩留まり向上と発生量の削減、廃棄物の有価物販売と内部処理の推進、既存廃棄物のリサイクル化による埋立減、分別廃棄の維持と発生廃棄物の削減、廃プラスチックのリサイクル処理業者の継続的な探索と処理を進めています。引き続き、資源の循環を促進し、廃棄物削減と環境への負荷軽減に積極的に取り組みます。

日油グループにおける廃棄物発生量 日油グループ



省エネルギーへの取り組み

2022年度の日油グループの原油換算エネルギー使用量は、2021年度比8.0%減の80,226klとなり、売上高原油換算エネルギー原単位は、2021年度比18.5%減の0.37kl/百万円となりました。工程改善やスチームトラップの交換による蒸気使用量削減などの省エネルギー活動に取り組んできました。加えて、売上高の伸長が、売上高原油換算エネルギー原単位の改善に影響していると評価しています。

エネルギー原単位の推移

